

生誕100年  
写真家・濱谷浩



《稻刈り》最上、山形、1955年 第3章「裏日本」より

もし写真に言葉があったら

2015年 9月19日[土]～11月15日[日]

主催：世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団) 後援：世田谷区、世田谷区教育委員会  
協賛：キャノンマーケティングジャパン株式会社、文化堂印刷株式会社、SHI/EIDO  
助成：公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団  
特別協力：濱谷浩写真資料館 企画協力：株式会社クレヴィス  
開館時間：午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)  
休館日：毎週月曜日(ただし9月21日[月・祝]、10月12日[月・祝]は開館、9月24日[木]、10月13日[火]は休館)

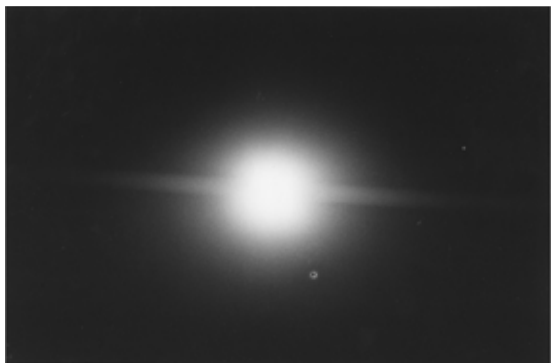
世田谷美術館  
Setagaya Art Museum



《田植女》白萩、富山、1955年 第3章「裏日本」より



《停留所》指江、石川、1955年 第3章「裏日本」より



《終戦の日の太陽》高田、新潟、1945年 第4章「戦後昭和」より



《室生犀星》1959年 第5章「學藝諸家」より

HIROSHI HAMAYA:  
PHOTOGRAPHS 1930s-1960s

# 生誕100年 写真家・濱谷浩

## —もし写真に言葉があったら—

日本の現代写真史に深くその名を刻む写真家・濱谷浩(1915~1999)。15歳でカメラを手にして以来、70年近くの歳月を費やし独自の写真哲学を築いてきた濱谷は、アジア人として初めてマグナム・フォトの寄稿写真家となり、また写真界での多大な功績を称えるハッセルブラッド国際写真賞を受賞するなど、国際的にも高い評価を得てきました。その作品は、対象に寄り添いつつも常に客観的態度に貫かれ、ときに鋭いメッセージを私たちに投げかけます。

本展は、東京で生まれ育った濱谷浩が、新潟の豪雪地帯を訪れたことをきっかけに、民俗学的見地から地方風俗を記録していくことに力を傾けた〈雪国〉、厳しい自然環境下で逞しく生きる人々の姿を日本海側の農漁村の風景のなかに捉えた〈裏日本〉といった代表的シリーズをはじめ、戦後日本の都市と地方にみる光と影を写した作品群や、安保闘争を取材した〈怒りと悲しみの記録〉など、その活動前半期にあたる1930年代から60年代の仕事に注目しご紹介するものです。やがてグローバルな活動を展開することとなる写真家が、いかにして独自の姿勢を確立していったのか—モダン都市・東京の様相をスナップした初期作品や、各界の著名文化人らの魅力溢れるポートレイト・シリーズ〈學藝諸家〉を含む全200点の作品によって、その出発点から転換期までを辿ります。

Courtesy Estate of Hiroshi Hamaya, Oiso, Japan

観覧料：一般1000(800)円、65歳以上800(600)円、大高生800(600)円、中小生500(300)円

※( )内は20名以上の団体料金 ※一般の障害者の方は500円、大高中小生の障害者の方は無料、介助の方1名につき1名まで無料。\*リピーター割引：会期中本展有料チケットの半券をご提示いただくと、2回目以降は団体料金にてご覧いただけます。

展覧会のご案内：03-5777-8600(ハローダイヤル)



《オフィス街》丸の内、東京、1937年 第1章「モダン東京」より



《歌ってゆく鳥追い》桑取、新潟、1940年 第2章「雪国」より



《ホソヤラ洞で歌う子どもたち》十日町、新潟、1956年 第2章「雪国」より

### 関連企画

#### ◎記念講演会「濱谷浩 その人・その写真」

『濱谷浩写真集成 地の貌・生の貌』(岩波書店、1981年)などの編集に携わり、濱谷浩を間近に知る多田亞生氏に、その人物像や生前のエピソードについてお聞きします。

講師：多田亞生(本展監修者) 聞き手：当館学芸員

日時：10月10日(土) 午後2時~午後3時(午後1時30分開場) 会場：当館講堂

定員：当日先着150名 \*当日午前10時よりエントランス・ホールにて整理券を配布します

参加料：無料 手話通訳つき

#### ◎100円ワークショップ どなたでもその場で気軽に参加できる工作など。

日時：会期中の毎土曜日 午後1時~午後3時 会場：当館地下創作室 参加方法：時間中随時受付

参加費：1回100円

同時開催：ミュージアム コレクションII「おもしろいかたち・いろいろ」

2015年8月1日(土)~12月6日(日)

次回企画展：「スペインの彫刻家フリオ・ゴンサレス—ピカソに鉄彫刻を教えた男」

2015年11月28日(土)~2016年1月31日(日)

## 世田谷美術館

### Setagaya Art Museum

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

Tel.03-3415-6011(代表)

www.setagayaartmuseum.or.jp

交通案内：

- 東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、または美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅下車、田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(60台、無料)：東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

